

平成25年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）技術検討会（第1回）  
議事概要

- 1 開催日 平成25年10月31日（木）9：00～17：30
- 2 出席委員  
別紙のとおり
- 3 場所 [事後評価]  
農地防災事業（湛水防除事業）  
岡登地区（群馬県みどり市、太田市）  
[再評価]  
農業競争力強化基盤整備事業（水利施設整備事業）  
霞ヶ浦用水Ⅲ期地区（茨城県下妻市外9市町）
- 4 技術検討会の概要
  - ・技術検討会の委員長の選出について  
委員長に佐々木委員が選出された。
  - ・技術検討会に関する情報公開について  
技術検討会（第2回）以降の傍聴は可とし、議事録は発言者名を明記した上で、公表することとなった。

[事後評価現地調査]

- ・整備施設、事業効果発現状況の調査を行った。
- ・事業実施前後の効果、現在の営農状況等について受益農家との意見交換を行い、受益農家からは、事業実施前は湛水被害に悩まされていたが、事業実施後には、被害が解消され、施設栽培も可能となる等、新たな農業経営を行うことが出来るようになったとの意見があった。

[再評価現地調査]

- ・当該事業による管水路整備で用水が手当される末端ほ場の状況について調査を行った。
- ・畑地帯総合整備事業を実施済みの借宿生子地区では、畑地かんがい施設の整備や区画整理が行われたことによる効果等について受益農家との意見交換を行い、受益農家からは、霞ヶ浦用水事業と基盤整備事業の実施により畑地かんがい施設が整備されたため、計画的な作付、作物の品質向上、労働時間の縮減が図られ、活気のある農業を営んでおり、生産された作物を自信を持って出荷しているとの意見があった。
- ・農業競争力強化基盤整備事業を実施中である坂東中央地区では、現在の未整備状態において、営農上苦勞している事等について受益農家との意見交換を行い。受益農家からは、早く事業を完了し、霞ヶ浦用水事業と基盤整備事業を実施した周辺優良農地のように天候に左右されない効率的、計画的な農業を行いたいとの意見があった。

別紙

平成25年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）  
技術検討会（第1回）出席者委員

平成25年10月31日

氏名	所属
[技術検討会委員] 浅枝 隆	埼玉大学大学院理工学研究科教授
黒田 久雄	茨城大学農学部教授
斎藤 和子	茨城大学地域総合研究所客員研究員
佐々木 隆	信州大学農学部教授
清水 みゆき	日本大学生物資源科学部教授

※浅枝委員は午後の再評価地区より現地調査に出席